安全上のご注意

本機器を使用する際は、けがや火災、感電などを防ぐため、下記の注意事項にしたがって、正しくお使いください。

カメラユーザーガイド（応用編）の「取り扱い上のご注意」も必ずお読みください。

⚠ 警　告

- ストロボを人の目に近付けて発光しないでください。
- お子様や幼児の手の届かないところに保管してください。
- 落下などで、強い衝撃を与えないでください。カメラのストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。
- 煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 指定外の電池を使用しないでください。
- コンパクトパワーアダプターの出力端子は本機専用です。他の製品には、お使いにならないでください。

⚠ 注　意

- 絶対に液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因となります。

ご相談窓口やホームページのご案内はカメラユーザーガイド（応用編）の裏表紙をご覧ください。

Canon

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

CDI-J212-010　XXXXXXX　© 2006 CANON INC.　PRINTED IN JAPAN

Canon

キヤノンデジタルカメラ

PowerShot S3 IS

カメラユーザーガイド

はじめにお読みください

本書では、カメラの準備や基本的な使いかたを説明しています。

DiG!C II

BUBBLE JET DIRECT

ガイドの使いかた

以下のガイドが用意されています。必要に応じてお読みください。

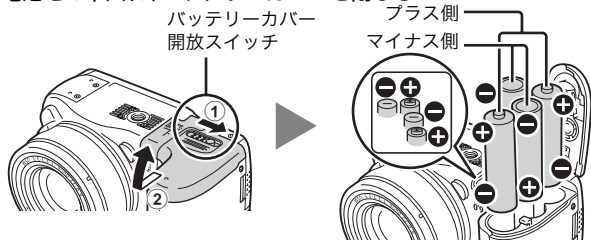
このカメラでは、SD＊メモリーカードとマルチメディアカードをお使いになれます。このガイドでは、これらをメモリーカードと表記します。

＊ SD＝Secure Digital（著作権保護システム）の略

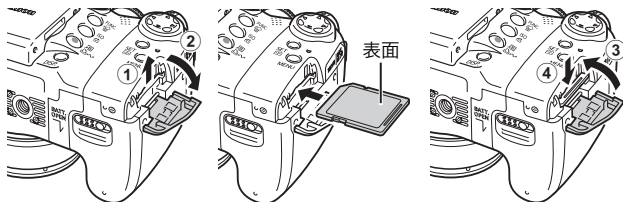
準備する

電池とメモリーカードを入れる

1 電池を入れる

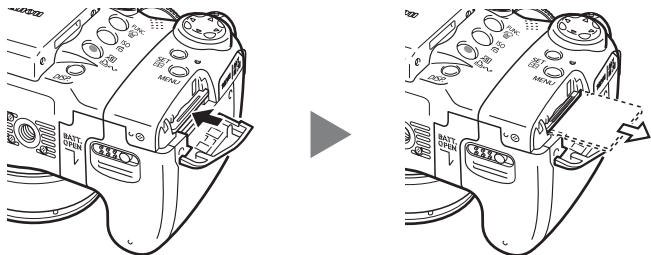
1. バッテリーカバーを開く(①、②)
2. 付属の単3形アルカリ電池、または別売の単3形ニッケル水素電池を4本入れ、バッテリーカバーを閉じる

応用編：電池の取り扱い（p. 121）

バッテリー室内部に貼られているシールで、電極の正しい向きを確認できます。

2 メモリーカードスロットカバーをスライドして(①)開き(②)、メモリーカードを「カチッ」と音がするまで差し込み、カバーを閉じる(③、④)

応用編：メモリーカードの取り扱い（p. 122）
応用編：メモリーカードを初期化する（p. 35）

メモリーカードは、必ず正しい向きでカメラに入れてください。誤って逆に入れた場合、本体の故障の原因となることがあります。

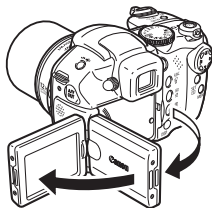
メモリーカードを取り出すときは

「カチッ」と音がするまで、指でメモリーカードを奥に押し込んで放します。

準備する

はじめてお使いの場合

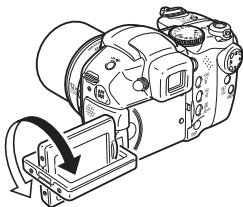
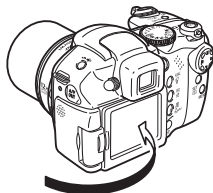
液晶モニターを開く

画像を確認しながら撮影するときや、メニュー操作、画像を再生するときは、液晶モニターを使います。液晶モニターは次のように動かせます。

1. 左右に180度開閉できます。

2. レンズ側に180度、手前側に90度回転します。

レンズ側に180度回転した場合は、画像が鏡像（左右反転）表示されます。

＊ 鏡像表示の設定は解除することができます。

➔ 応用編：撮影メニュー（p. 28）

3.**液晶モニターを外側に向けて閉じます。**
カチッと音がするまで液晶モニターを閉じると、画像の左右が正しく表示されます。

応用編：液晶モニターの使いかた（p. 16）

カメラを使わないときは、液晶モニターを保護するために、必ず内側に向けて閉じてください。カチッと音がするまで閉じると、液晶モニターは自動的に消灯し、ビューファインダーに画像が表示されます。

電源を入れる/切る

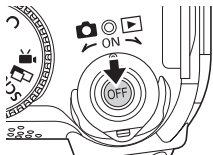
1 ストッパーを押しながら、モードレバーを（撮影）または（再生）側に回し電源を入れる

電源/モードランプ
モードレバー
ストッパー

電源が入ると、電源/モードランプが橙または緑色に点灯します。

- 撮影モードと再生モードを切り換えるときも、ストッパーを押しながら、モードレバーをまたは側*に回します。

＊再生モードになりますが、レンズは収納されません（もう一度モードレバーを側に回すとレンズが収納されます）。

2 電源を切るときはOFFボタンを押す

- 電源を入れると起動音が鳴り、液晶モニターに起動画面が表示されます(応用編 p. 104)。ただし、ビューファインダーで起動したときは、起動画面は表示されず、起動音も鳴りません。また、カメラの端子をテレビ等に接続しているときも起動画面は表示されません。

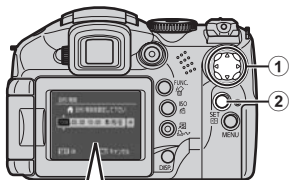
起動音を消して電源を入れるには

- 🎙ボタンを押しながら電源を入れます。または液晶モニターを閉じたまま電源を入れます。

➔ 応用編：消音設定（p. 31）

日付/時刻を合わせる

1 電源を入れる(p. 3)

2 ◀▶で設定したい項目を選び、▲▼で設定する(①)

3 正しい日時が表示されていることを確認し、SETボタンを押す(②)

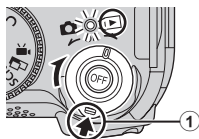
設定メニューでも日付/時刻を設定できます(p. 16)。

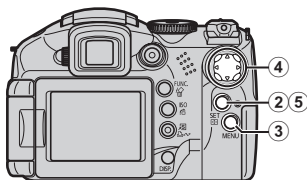
➔ 応用編：世界時計を設定する（p. 24）

はじめてカメラの電源を入れたとき、またはコイン型リチウム電池の容量がなくなったときに、日付/時刻の設定画面が表示されます。

➔ 応用編：コイン型リチウム電池を交換する（p. 124）

メニューの表示言語を設定する

1 ストッパーを押しながらモードレバーを▶（再生）側に回す（①）

2 SETボタンを押しながら（②）MENUボタンを押す（③）

動画再生時や検索ジャンプモード（応用編 p. 84）、プリンターやパソコン接続時は、この操作はできません。

3 ◀▶▲▼で言語を選び（④）、SETボタンを押す（⑤）

設定メニューでも言語を設定できます（p. 16）。

撮影する（静止画）

1 ストッパーを押しながら、モードレバーを ◘（撮影）側に回し電源を入れる（p. 3）

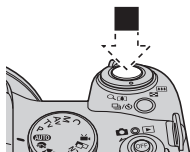
2 モードダイヤルを AUTO にする

3 被写体にカメラを向ける

4 ピントを合わせて撮影する

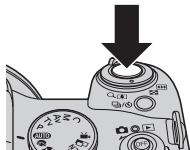
1. シャッターボタンを浅く押して（半押し）、ピントを合わせる

浅く押す
（半押し）

- ピントが合うと、電子音が「ピピッ」と鳴り、AF枠が緑で表示されます。
- 「ストロボを上げてください」のメッセージが表示されたら、ストロボ撮影（p. 11）してください。

> ● 手ぶれ補正は初期設定では[入]になっています。
> ●「ピッ」と1回しか鳴らないときは、ピントが合わせにくい状態です。
>
> ➔ 応用編：手ぶれ補正を設定する（p. 38）
> ➔ 応用編：ピントが合いにくい被写体を撮る（p. 61）

2. シャッターボタンを深く押して（全押し）、撮影する

深く押す
（全押し）

シャッター音がして、撮影されます。ランプが赤色に点滅し、メモリーカードに記録されます。

➔ 撮影時の基本的な機能（p. 8）
➔ 応用編：いろいろな撮影方法をご確認ください。

撮影直後に画像を確認する

撮影直後に約２秒間、撮影した画像が表示されます。
次の方法で設定時間にかかわらず画像を表示し続けます。

- シャッターボタンを全押しし続ける（指を放さない）
- 撮影した画像の表示されている間に**SET**ボタンまたは**DISP.**ボタンを押す＊

画面表示の解除のしかた：シャッターボタンを半押しします。

＊ スティッチアシストモード（p. 8）では、この操作はできません。

応用編：撮影した画像の確認時間を変更する（p. 29）
消去する（p. 14）

撮影した画像が表示されている間に、次のようなことができます（スティッチアシストモードではできません）。

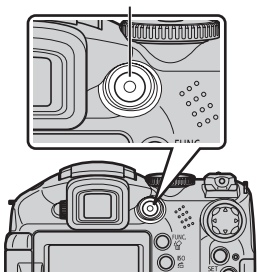
- 画像の詳細情報を表示する（応用編 p. 22）
- 画像を拡大して見る（応用編 p. 83）
- 画像を消去する（基本編 p. 14）
- 音声メモをつける（応用編 p. 90）

撮影する（動画）

モードダイヤルがどの位置にあっても、動画ボタンを押すだけで、動画を撮影できます。

- １回の最大記録容量は1GB＊です。
- 音声はステレオで記録されます。
- 再度動画ボタンを押すと、撮影が終了します。

＊ 記録容量が1GBに達していなくても、撮影時間が１時間に達した時点で記録を停止します。また、メモリーカードの容量、データ書き込み速度により、1GBまたは１時間に満たなくても記録が停止します。

動画ボタン

応用編：動画を撮る（p. 45）

撮影時の基本的な機能

撮影モードを選ぶ

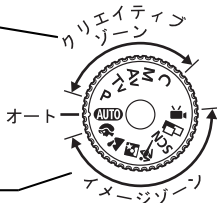
撮影モードは、モードダイヤルで選びます。

モードダイヤル

思いどおりの撮影をする
露出や絞りを変えるなど、思いどおりのさまざまな撮影ができます。

AUTO：オートで撮影する
カメラまかせで撮影できます。

被写体に合う設定で撮影する
被写体に合う条件をカメラにまかせて設定し、撮影できます。

クリエイティブゾーン
オート
イメージゾーン

イメージゾーン

ポートレート
背景をぼかして人物を浮き立たせます。

夜景
夕暮れや夜景をバックにした人物を撮影できます。人物にストロボ光をあて、遅いシャッタースピードで撮影するため、人物と背景のそれぞれをきれいに撮影できます。

SCN スペシャルシーンモード
さまざまなシーンに合わせた 8 つの撮影モードが用意されています。
撮影状況に応じた撮影モードを選択すると、最適な撮影ができるようにカメラが自動的に設定を行います。

p. 9

動画
動画撮影の設定ができます。

応用編（p. 45）

風景
広がりのある風景を撮影できます。

スポーツ
オートフォーカスしながら連続撮影できます。動きのある被写体を撮影するのに適しています（連続撮影の設定は変更できます（応用編 p. 41））。

スティッチアシスト
撮影した画像をパソコンで合成して、パノラマ画像を作れます。

応用編（p. 50）

スペシャルシーンモードの種類

モードダイヤルを**SCN**に合わせ、◀▶で撮影モードを選びます。

新緑 / 紅葉
新緑、紅葉、桜など、木々や葉を色鮮やかに撮影できます。

スノー
雪景色をバックにしても人物が暗くならず、青みも残らないで撮影できます。

ビーチ
太陽光の反射の強い海面や砂浜でも、人物などが暗くならずに撮影できます。

打上げ花火
打上げ花火を最適な露出で鮮やかに撮影できます。

ワンポイントカラー
画面内の指定した色以外を白黒にして撮影できます。

➔応用編（p. 52）

スイッチカラー
画面内の指定した色を別の色に変更して撮影できます。

➔応用編（p. 53）

ナイトスナップ
夕暮れや夜景をバックに人物をスナップ撮影したいとき、三脚がなくても手ぶれを少なく撮影できます。

パーティー/ 室内
蛍光灯や電球のもとで、手ぶれをおさえて被写体に忠実な色味で撮影できます。

- 各撮影モードで変更できる設定（応用編 p. 151）
- 被写体によっては、思いどおりの画像にならない場合があります。
- 、、**SCN**モードの、、、では、撮影シーンによっては、ISO感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。
- 選択している機能により、以下のような注意事項があります。

	被写体の上半身が液晶モニターいっぱいになるようにすると、背景を効果的にぼかすことができます。
	レンズを望遠側にすると背景をさらにぼかすことができます。
	シャッタースピードが遅くなりやすいので、液晶モニターに（手ぶれ警告）が表示されたら三脚を使用してください。
	シャッタースピードが遅くなります。ストロボが発光してもすぐに動かないように、写される人に声をかけてください。
	日中に撮影すると、AUTOと同じ撮影効果になります。
	スローシンクロが自動的に[入]になります。手ぶれを防ぐため、三脚の使用をおすすめします。
	レンズ先端から被写体までの距離が 1m ～∞（ズーム位置が最も広角側）、4m ～∞（ズーム位置が最も望遠側）でお使いください。
	シャッタースピードが遅くなります。手ぶれを防ぐために必ず三脚をお使いください。

動画モード

5つの記録画素数/フレームレートを選んで、動画を撮影できます。SCNモードの指定した色以外を白黒にして撮影する「ワンポイントカラー」、指定した色を別の色に変更して撮影する「スイッチカラー」、FUNC.メニューのマイカラーなどを組み合わせても撮影できます。

応用編：動画を撮る（p. 45）

クリエイティブゾーンの種類

P　プログラム AE
シャッタースピードと絞り数値をカメラが自動的に設定して撮影できます。

応用編（p. 55）

Av　絞り優先 AE
絞り数値を選ぶと、カメラが自動的にシャッタースピードを設定して撮影できます。

応用編（p. 57）

C　カスタム
よく使う撮影モードや設定を登録しておくことができます。

応用編（p. 78）

Tv　シャッタースピード優先 AE
シャッタースピードを選ぶと、カメラが自動的に絞り数値を設定して撮影できます。

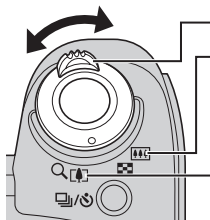
応用編（p. 56）

M　マニュアル
シャッタースピードと絞り数値を自由に選んで撮影できます。

応用編（p. 58）

ズームを使う

35mmフィルム換算で、36～432mm（焦点距離）の範囲で画角を調整できます。ズーム操作中は、ズームバーが表示されます。

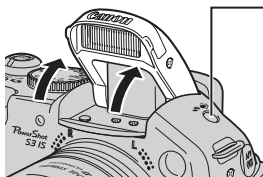
ズームレバーを［広角］側、または［望遠］側に回す

［広角］広角
広い範囲を撮ることができます（被写体が小さくなります）。

［望遠］望遠
被写体を大きく撮ることができます。

ズームバー

ピントの合う範囲（目安）

ストロボを使う

1 ストロボを指で持ち上げ、撮影する

ボタン

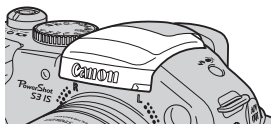
押すたびにストロボの設定が変わります。（撮影モードによっては設定できないことがあります）

⚡	常にストロボを発光します。
⚡A	自動でストロボを発光します。

赤目緩和機能＊「入」のとき

赤目緩和機能「切」のとき

＊ ストロボの光が反射して目が赤く写るのを軽減する機能です。赤目緩和の設定は撮影メニューで行います（p. 12）。

2 ストロボを使わないときは指で押し下げて収納する

液晶モニター（またはビューファインダー）に⚡が表示されます。

- ストロボで撮影できる距離は、50cm～5.2m（広角）、90cm～4.0m（望遠）です（ISO感度オート時、マクロ、スーパーマクロモードを除く（p. 12））。
- ストロボの充電時間は使用状況やバッテリーの容量などにより変わります。
- 液晶モニター（またはビューファインダー）内に⚡が赤色で点滅したときは、露出が足りないという警告です。このときは、ストロボを上げて撮影してください。ただし、**Tv**、**Av**、**M**では警告がでません。

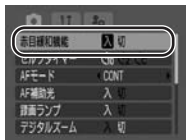
- 、**SCN**モードの、ではお使いになれません。
- 、**Tv**、**Av**、**M**では、⚡Aの設定はできません。

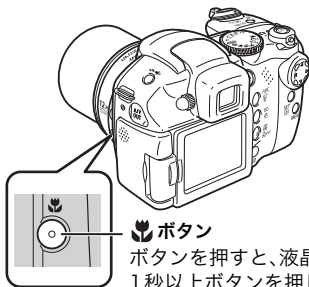
応用編：各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 151）

赤目緩和機能を設定する

1 (撮影メニュー)➡[赤目緩和機能]➡[入]*/[切]

メニューの表示と設定のしかた(p. 15)

*初期設定

至近距離で撮る(マクロ/スーパーマクロ)

花や小さなものなどに近づいて大きく撮ることができます。
(撮影モードによっては設定できないことがあります)

ボタン

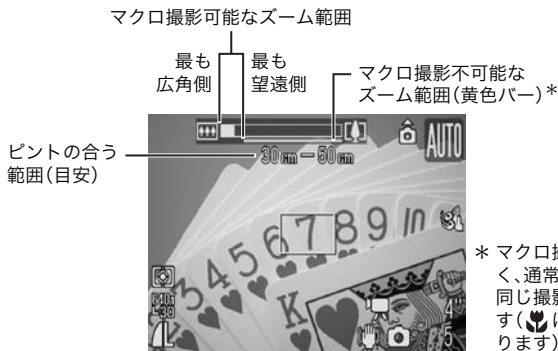
ボタンを押すと、液晶モニターにが表示されます。
1秒以上ボタンを押し続けるとスーパーマクロモードになります(液晶モニターにが表示されます)。

ズーム操作中にズームバーが表示され、マクロ撮影ができないズーム領域には黄色いバーが表示されます。黄色の領域まで望遠にすると、が灰色で表示されます。この場合もシャッターボタンは押せますが、通常モードと同じ撮影になります。
ズームバーは、約2 秒後に消えます。

解除のしかた：ボタンを押してまたはの表示を消す。

撮影時の基本的な機能

ピントの合う範囲(目安)

＊ マクロ撮影ではなく、通常モードと同じ撮影になります(は灰色になります)。

マクロモード時

撮影距離と被写体に最も近づいたときの撮影範囲

ズーム位置	撮影距離	被写体に最も近づいたとき	
		撮影範囲	レンズ先端から被写体までの距離
最も広角側	10 ～ 50cm	118 × 87mm	10cm

スーパーマクロモード時

撮影距離と被写体に最も近づいたときの撮影範囲

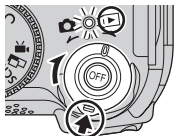
ズーム位置	撮影距離	被写体に最も近づいたとき	
		撮影範囲	レンズ先端から被写体までの距離
最も広角側(固定*)	0 ～ 10cm	22 × 16mm	0cm

＊ ズームはお使いになれません。

- マクロモードでストロボをお使いになると、画像の明るさが適切にならないことがあります(スーパーマクロモードではストロボをお使いになれません)。
- スーパーマクロ撮影時に、レンズを傷付けないようにしてください。

応用編：スーパーマクロ撮影（p. 39）
応用編：各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 151）

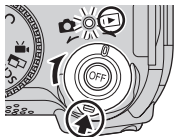
再生する

1 ストッパーを押しながら、モードレバーを ▶ (再生)側に回す

2 ◀▶ で見たい画像を表示する

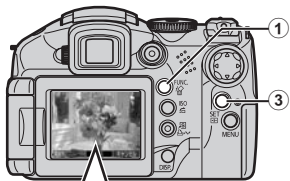
- ◀で前の画像、▶で次の画像を表示します。
- ボタンを押し続けると、早く進みますが、表示される画像は粗くなります。

➔ 応用編：いろいろな再生機能をご確認ください
➔ 応用編：動画を見る（p. 85）

消去する

1 ストッパーを押しながら、モードレバーを ▶ (再生)側に回す

2 ◀▶ で消去したい画像を選び 🗑 ボタンを押す(①)

3 [消去]が選択されていることを確認して(②)、SETボタンを押す(③)

- 操作を取り消すときは、◀▶ で［キャンセル］を選びます。

プロテクトされている画像は消去できません(応用編 p. 96)。

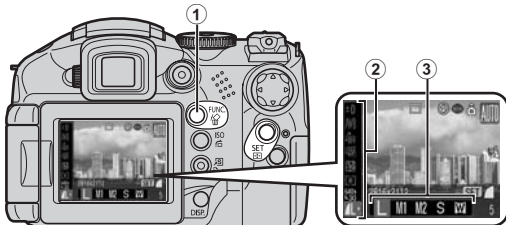
➔ 応用編：全画像を消去する（p. 97）

消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。

メニューの表示と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、印刷の設定、日付/時刻、電子音などのカメラの設定は、FUNC.メニューまたは撮影/再生/印刷/設定/マイカメラメニューを使って操作します。

FUNC.メニュー

記録画素数や圧縮率など、撮影に関する設定を行います。

撮影モードのときに**FUNC.**ボタンを押す(①)

項目を選ぶには(②)▲▼を押す

設定を変更するには(③)◀▶を押す

- 設定項目によっては、**SET**ボタンでさらに変更できます。
- 選択後、シャッターボタンを押してすぐに撮影できます。
  撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

➔ 応用編:FUNC. メニュー項目の一覧(p. 28)

撮影/再生/印刷/設定/マイカメラメニュー

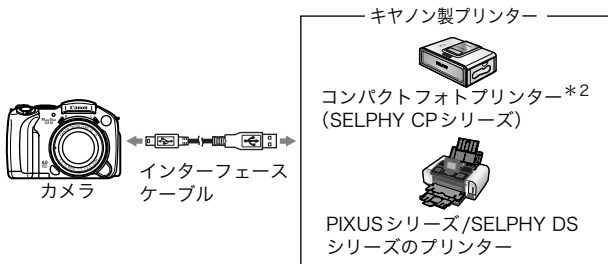
カメラの便利な機能を設定します。[撮影メニュー][再生メニュー][印刷メニュー][設定メニュー][マイカメラメニュー]に分かれています。

撮影モードのとき

応用編：メニュー項目の一覧（p. 28）

印刷する

カメラとカメラダイレクト対応プリンター＊1をケーブルで直接つなぎ、ボタンを押すだけで、簡単に印刷できます。

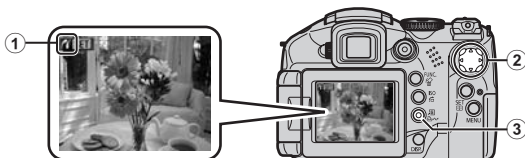
1 カメラとカメラダイレクト対応プリンターを接続し、プリンターの電源を入れる

＊1 このカメラは標準規格「PictBridge（ピクトブリッジ）」に対応していますので、キヤノン製プリンターだけでなく、キヤノン製以外のPictBridge対応プリンターでも印刷できます。

＊2 カードフォトプリンターCP-10/CP-100/CP-200/CP-300もお使いになれます。

2 カメラを再生モードにして電源を入れ、液晶モニターの左上に、またはが表示されていることを確認する（①）

- ボタンが青色に点灯します。
- 表示されるアイコンは、プリンターによって異なります。

3 ◀▶で印刷したい画像を選び（②）、ボタンを押す（③）

ボタンが青く点滅し、印刷が始まります。

応用編：DPOF の印刷指定（p. 98）
ダイレクトプリントユーザーガイド
お使いのプリンターの使用説明書

パソコンに画像を取り込む

カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法は次のとおりです。お使いのOSによっては利用できない方法があります。あらかじめ「パソコンに必要なシステム構成(p. 19)」でご確認ください。

カメラとパソコンを接続する

付属のソフトウェア	インストールする		インストールしない
取り込む方法	パソコンの操作	カメラの操作	パソコンの操作
Windows 98 SE	●	●	−
Windows 2000	●	●	−
Windows Me	●	●	−
Windows XP	●	●	●
Mac OS X	●	●	●

パソコンに必要なシステム構成

- 基本編 p. 19
- ソフトウェアクイックガイド

カメラとパソコンを接続する

- 基本編 p. 21

パソコンに画像を取り込む

- 基本編 p. 22、p. 23
- ソフトウェアクイックガイド

- Windows® XP、Mac OS X をお使いの方へ

メモリーカードリーダーを利用する

上記のすべてのOSでお使いになれます。ソフトウェアクイックガイドでご確認ください。

パソコンに必要なシステム構成

ソフトウェアは、以下の条件を満たすパソコンにインストールしてお使いください。

Windows

OS	Windows 98 Second Edition (SE) Windows Me Windows 2000 Service Pack 4 Windows XP(Service Pack 1、Service Pack 2 を含む)
機種	上記 OS がプリインストールされていて、USB ポートが標準装備されていること
CPU	Pentium 500MHz 以上
RAM	Windows 98 SE / Windows Me :128MB 以上 Windows 2000 / Windows XP :256MB 以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	● Canon Utilities - ZoomBrowser EX : 200MB 以上 - PhotoStitch : 40MB 以上 ● Canon Camera TWAIN Driver : 25MB 以上 ● Canon Camera WIA Driver : 25MB 以上 ● ArcSoft PhotoStudio : 50MB 以上
ディスプレイ	1,024 × 768 ドット High Color(16bit)以上

Macintosh

OS	Mac OS X(v10.2 ~ v10.4)
機種	上記 OS がプリインストールされていて、USB ポートが標準装備されていること
CPU	PowerPC G3/G4/G5
RAM	256MB 以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	● Canon Utilities - ImageBrowser : 200MB 以上 - PhotoStitch : 40MB 以上 ● ArcSoft PhotoStudio : 50MB 以上
ディスプレイ	1,024 × 768 ドット 32,000 色 以上

画像を取り込む準備をする

必ずソフトウェアをインストールしてから、カメラとパソコンを接続してください。

用意するもの

- カメラとパソコン
- カメラに付属の「Canon Digital Camera Solution Disk」
- インターフェースケーブル（必ずカメラに付属のケーブルをお使いください。）

1 ソフトウェアをインストールする

1. Canon Digital Camera Solution DiskをCD-ROMドライブにセットする

Macintosh

CD-ROM内の[Canon Digital Camera Installer]アイコン（ ）をダブルクリックします。
インストーラーパネルが表示されたら[インストール]をクリックします。

インストーラーパネル

2. [おまかせインストール]をクリックする

Macintosh

[おまかせインストール]を選択し、[次へ]をクリックします。

インストール内容を確認しながら、インストールを進めます。

インストーラーパネル

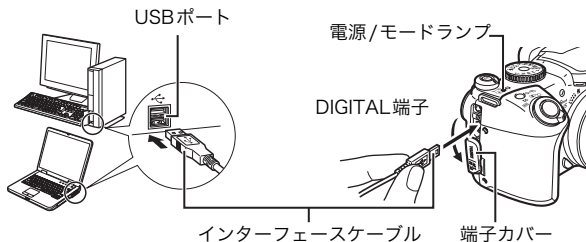
3. インストールが終了したら、[完了]または[再起動]が表示されるので、表示されたボタンをクリックする

Macintosh

インストールが終了したら[終了]をクリックします。

4. 通常のデスクトップの画面が表示されたら、Canon Digital Camera Solution DiskをCD-ROMドライブから取り出す

2 カメラとパソコンを接続する

1. 付属のインターフェースケーブルで、パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL端子を接続する
カメラの端子カバーの上端に爪をかけて手前に開き、インターフェースケーブルを奥まで押し込みます。

カメラの電源が自動的に入り、パソコンと通信できる状態になります。(液晶モニター(またはビューファインダー)が消え、電源/モードランプが黄色に点灯します)

カメラのDIGITAL端子からインターフェースケーブルを取り外すときは、必ず、コネクターの側面を持って取り外してください。

Windows
[デジタル署名が見つかりませんでした]と表示された場合は、[はい]をクリックしてください。接続が完了し、カメラとパソコンが通信できる状態になると、USBドライバが自動的にパソコン内にインストールされます。

Windows パソコンに画像を取り込む

カメラとパソコンが通信できる状態になると、初期設定を行うウィンドウが表示されます。

1 [Canon CameraWindow]を選び、[OK]をクリックする（初回のみ）

> 右のウィンドウが表示されない場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]または[プログラム]▶[Canon Utilities]▶[CameraWindow]▶[PowerShot－IXY－IXUS－DV 6]▶[CameraWindow]をクリックします。

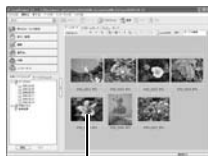
2 画像を取り込む

- 「カメラの操作」または「パソコンの操作」で画像を取り込みます。
- 初期設定では、[マイピクチャ]フォルダに画像が取り込まれます。

カメラの操作で画像を取り込みます（p.24）。

パソコンの操作で画像を取り込みます。初期設定では、まだ取り込まれていない画像がすべて取り込まれます。

取り込む画像の種類や保存先フォルダを設定できます。

ZoomBrowser EXのメインウィンドウに、取り込まれた画像のサムネイル（縮小された画像）が表示されます。初期設定では、パソコンに取り込まれた画像は、撮影日ごとにフォルダに保存されます。

サムネイル

Macintosh パソコンに画像を取り込む

カメラとパソコンが通信できる状態になると、次のウィンドウが表示されます。表示されない場合は、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の［Canon CameraWindow］アイコンをクリックします。

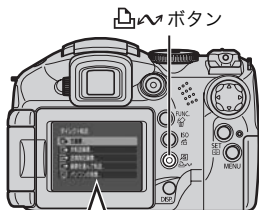
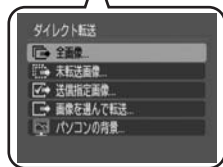
1 画像を取り込む

- 「カメラの操作」または「パソコンの操作」で画像を取り込みます。
- 初期設定では、［ピクチャ］フォルダに画像が取り込まれます。

ImageBrowserのブラウザウィンドウに、取り込まれた画像のサムネイル（縮小された画像）が表示されます。初期設定では、パソコンに取り込まれた画像は、撮影日ごとにフォルダに保存されます。

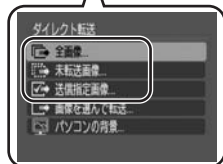
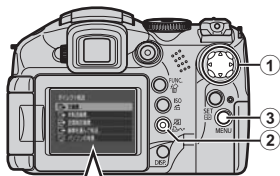
カメラの操作で画像を取り込む（ダイレクト転送）

初めてダイレクト転送で画像を取り込むときは、付属のソフトウェアを最初にインストールし、パソコンの設定をしておいてください（p. 20）。

カメラとパソコンが接続されると、ボタンが青色に点灯し、カメラの液晶モニターにダイレクト転送画面が表示されます。
このとき、カメラ側の操作で画像を取り込めます。

ダイレクト転送画面が表示されない場合は、ボタンを押してください。

ダイレクト転送では、次の転送方法が選べます。

全画像	すべての画像をパソコンに取り込み、保存します。
未転送画像	まだ取り込んでいない画像だけをパソコンに取り込み、保存します。
送信指定画像	送信指定した画像（応用編 p. 101）だけをパソコンに取り込み、保存します。
画像を選んで転送	画像を見ながら 1 画像ずつパソコンに取り込み、保存します。
パソコンの背景	画像を見ながらパソコンのデスクトップの背景にしたい画像を取り込みます。取り込んだ画像は、パソコンのデスクトップに背景として表示されます。

[全画像][未転送画像][送信指定画像]のとき

▲▼で、、、のいずれかを選び(①)、ボタンを押す(②)

画像がパソコンに転送されます。
取り込み中は、ボタンが青色に点滅します。
取り込みを中止するときは、**SET**ボタンを押してキャンセルします。
画像の取り込みが終了すると、ダイレクト転送画面に戻ります。

[画像を選んで転送][パソコンの背景]のとき

1 ▲▼でまたはを選び(①)、ボタン(またはSETボタン)を押す(②)

2 ◀▶で取り込みたい画像を選び、ボタン(またはSETボタン)を押す(②)

画像が取り込まれます。
取り込み中はボタンが青色に点滅します。
インデックス再生中も画像を選べます。

3 MENUボタンを押す(③)

ダイレクト転送画面に戻ります

[パソコンの背景]の場合、JPEG圧縮の画像のみが取り込まれます。Windowsをお使いの場合は、BMPの画像が自動的に作られます。

ボタンで選択した項目は、カメラの電源を切っても記憶されます。次回、ダイレクト転送画面を表示したときは、前回設定した項目が選択されます。[画像を選んで転送]と[パソコンの背景]を選択していたときは、ただちに画像を選択する画面が表示されます。